

丸の内病院

発行年月日:30年4月27日

特集 産婦人科

母子医療センター 開設9年目を迎えました。
～新たな取り組みについてご紹介させていただきます～

連携室だより

ご自由にお持ち帰りください



～丸の内病院 理念～

- 1、私たちは、医療・介護における安全を重視し、患者さんを支える医療・介護を地域の医療機関と協力して推進いたします
- 2、高度の専門技術により、地域の皆さまの疾病管理と疾病予防に努力いたします
- 3、公益性を有する社会医療法人として、公正・適切な診療活動を実践します
- 4、医療・介護領域の教育研修を通じて人材育成を積極的に支援し、医療・介護の発展に寄与します



丸の内病院母子医療センターの現在



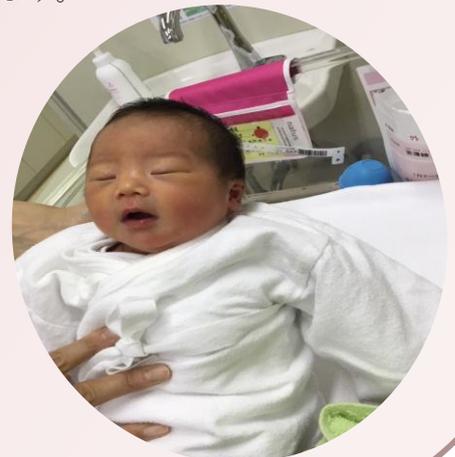
母子医療センター長
産婦人科部長 北村 文明

昨今の全国的な少子化の波は留まる事なく当科では平成26年の年間819件の分娩数をピークに、年々減少して現在年間500～600件の分娩を取り扱っています。丸の内病院母子医療センターの現状を報告いたします。

昨年6月より当院では院内助産を開始しました。これは特に異常、合併症のない産婦さんのお産は産科医がタッチせず、助産師さんだけに対応してもらおうというものです。本来分娩は生理的な現象で、必ずしも医療の介入を必要としないものです。このような本来女性が持っている自然に出産しようという産婦さんの力を、助産のプロである助産師に引き出してもらう事により安全な出産を目指そうという試みです。現在当院では院内助産として出産全体の20%近くになり、産婦さんにも好意的に受け止められています。産婦人科医の減少による産科医の負担軽減という側面はありますが、まさに助産師さんの腕の見せ所であり、助産師さんのモチベーション向上につながっているように考えられます。もちろん、産婦人科医は24時間、365日院内に待機していますから、異常が発生した場合は直ちに助産師との共同管理に移行できる体制は整えています。

母子医療センターの今後の取り組みとしましてはマタニティヨガとベビーマッサージのプログラムを始める予定です。マタニティヨガは妊娠中の精神・肉体・呼吸を整え、心と体の安定を目指すプログラムで、腰痛、肩こり、便秘、足のつりなどの妊娠中の不快症状の予防・改善が図られるほか、ヨガで学んだ呼吸法とリラクゼーション法はお産の時にも役立ちます。またベビーマッサージとは、その名の通り、赤ちゃんに優しく触れてマッサージをすることです。肌と肌で触れ合いながら親子のスキンシップをすることで、赤ちゃんに安らぎをもたらす、その心地よい刺激が赤ちゃんの心や体の発達に良い影響を与えると考えられています。またお母さん自身も、赤ちゃんに寄り添って反応や気持ちを感じ取ることで、我が子への愛情が深まるというメリットもあります。この様なプログラムを希望される妊婦さん、お母さんにそれぞれの資格を持った助産師が提供していく予定です。

また当院は来年秋に現在の病院西側駐車場に緩和ケア病棟を増築する予定で、新病棟の2階が緩和ケア病棟となり、1階に産婦人科外来が移動します。新しい産婦人科外来では婦人科と産科を待合室も含め完全に別の診察空間とし、婦人科の患者さんと産科の患者さんが一緒にならない様にしました。また助産師外来専用の診察室を新たに設け、これまで以上に助産師さんに妊婦健診に関わってもらい、院内助産とあわせて妊婦さん個々の細かいニーズにも対応できる様にしていきたいと考えています。





マタニティヨガ

ベビーマッサージをはじめます



【マタニティヨガについて】 5/7 予約開始 初回 5/29 スタート

様々な行動制限が多い妊婦さんたちが安全に体を動かし安産を迎えてほしいという思いからマタニティヨガのクラスを始めます。マタニティヨガインストラクターの資格を持つ当院の助産師が妊婦さんと一緒に体を動かしながらリラクゼーションを行い、安産に向けて心と体を整えていきます。

仕事を持っている忙しい妊婦さんや帰省分娩で他県にいる妊婦さんも参加できるように出産間近の10か月から参加できる内容になっています。また出産と育児を共に乗り越える仲間づくりの場としても活用していただけたら幸いです。

これから迎える出産と赤ちゃんとの生活に向けて、ゆったりと体を動かしながら、ご自身の心と体に向き合う時間を過ごすのはいかがでしょうか。

ごあんない

☆予約は36週以降、健診時にご予約下さい。

☆対象は当院で分娩予定の37週以降の方です。

- ・料金：500円／1回
- ・時間：13：30～13：45 受付 15：30終了
- ・持ち物：医師許可書と同意書・母子手帳・共通診療ノート
汗拭きタオル・飲み物

動きやすい服装でお越し下さい（ゆったりとしめつけないもの）

- ・場所：病院北側 松本食品衛生検査所 隣1階

（駐車場は当院駐車場をご利用下さい。検査所前は駐車禁止となります）



【ベビーマッサージについて】 5/7 予約開始 初回 5/17 スタート

赤ちゃんは抱っこやマッサージなど優しく触れられることが大好きです。また、赤ちゃんに触れたママやパパ、すべての大人も幸せな気持ちになります。マッサージを通じて、赤ちゃんが人の優しさや大切にされているという実感が持てて、ママも育児がますます楽しくなるお手伝いをさせていただきます。

一か月健診を過ぎ、歩き始めるまでの赤ちゃんとお母さんが対象です。インストラクターの資格を持つ当院の看護師・助産師が担当しますので、育児に関する心配事などもあったら、なんでもご相談ください。育児の不安が解消されて仲間との交流の場になることを願っています。

ごあんない

☆一ヶ月健診を終えた頃～歩き出す頃までの赤ちゃんとお母さんが対象です。

- ・料金：500円／1回
- ・時間：10：00～10：15受付 11：30終了
- ・持ち物：バスタオル・オムツ・赤ちゃんの着替え・お母さんの飲み物
授乳に必要な物・母子手帳

- ・場所：病院北側 松本食品衛生検査所 隣1階

（駐車場は当院駐車場をご利用下さい。検査所前は駐車禁止となります）

- ・予約方法：一ヶ月健診以降にお電話下さい。

丸の内病院 予約センター0263-28-3020へ



新任医師 ご挨拶



放射線科科長 角谷眞澄

2018年(平成30年)4月1日付けで放射線科科長として着任いたしました。出身は能登半島(石川県)で、1977年(昭和52年)に金沢大学を卒業し、金沢大学放射線科へ入局しました。金沢大学放射線科で画像診断の診療と研究に専念し、2000年(平成12年)に信州大学放射線医学教室(現:画像医学教室)に赴任し、診療、教育、研究の指導を行ってきました。当院では主にCTやMRIなどの画像検査の読影業務を担当します。診療に直接携わることはありませんが、放射線診断専門医として画像診断を介して皆様の診療の一翼を担いたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。



精神科科長 武藤隆

2018年4月より丸の内病院精神科に着任した武藤隆と申します。これまで精神科の病院で40年近く仕事をしていました。近隣の総合病院でお手伝いをしていましたが、常勤として病院で勤務するのは初めてのことです。丸の内病院では、入院中の認知症を併せ持つ患者さんへの支援チーム、産前産後の妊産婦さんへの支援チーム、そして緩和ケアを担当するチームの一員として仕事をしています。いずれも入院中の患者さんやご家族が、必要にして十分な病気の治療を受けられるように、入院生活をより安心して過ごせるように工夫を行うチームです。皆さんに安心して入院して頂けるよう、他のスタッフと力を合わせて頑張っけてゆきたいと思っています。

お知らせ

<退職医師のご連絡>

整形外科 松木 寛之 医師

3/31付で退職となりました。
在籍中は大変お世話になりました。
ありがとうございました。

<リウマチ教室のご案内>

日時:平成30年5月17日(木)14:00~
「リウマチと似てるけど違う、膠原病の話」
場所:丸の内病院 第1会議室
講師:信州大学医学部附属病院
脳神経内科、リウマチ・膠原病内科 岸田 大 医師
どなたでもご参加いただけます。
お問い合わせ先:0263-28-3010まで



地域医療連携部 方針

1. 地域の医療・介護・福祉との連携を円滑にし、患者さんの治療・療養生活をシームレスに保つよう支援します。
2. 地域連携施設と診療情報を共有したネットワーク作りをすすめます。
3. 院内連携をシステム化します。

丸の内病院 地域医療連携部(地域医療連携室・入退院支援室)

TEL:0263-28-3010(直通) FAX:0263-28-3011(直通)